

2018連合岩手宮古・県北地域協議会 第6回青年委員会・合同学習会

8月11日(土)に今年で6回目となる宮古地協との合同学習会を実施しました。地協や職場・職種の枠を超えた仲間との「心のつながり」を大事にし、「信頼を深める交流」から、次世代を担う労働者としての「学習」と「実践」に取り組み、労働組合の必要性を感じ、共に活動する仲間を創り出すことを目的としています。学習会を組合員に幅広く伝えていただき、次年度の参加者を増やしていくために、青年委員以外の方も参加しています。

当日は宮古地協のメンバーと三陸鉄道久慈駅に集合し、貸切の三陸鉄道で宮古市に向かいました。三陸鉄道のレトロ列車の予約も込んでおり、通常車両の貸切になってしまいましたが、車内では「班別対抗労働法関連クイズ大会」で楽しく盛り上がりました。

昼食は陸中野田駅から「ほたて弁当」を受け取り、味わって食べました。

クイズ大会では6班中の3つの班が同点でトップになりましたので、ジャンケンで順位を決定し景品を差し上げました。



出発前の三陸鉄道「久慈駅」で集合写真



浄土ヶ浜マリンハウス前で集合写真



全員が白鳥号で盛り上がる



クイズ大会では別組合の方々に構成する班のメンバー同士で回答を相談しながら悩み考え、さっそく交流が始まりました!(^^)!

浄土ヶ浜では「さつぱ船」に乗船し、青い洞窟見物をするはずが、先客の観光客が多く、待つ時間的余裕が無かったために全員で白鳥号に乗って楽しみました。受付とアナウンス担当のおじさんからは「連合、頑張れ!」と、突然大きな声でマイク越しに気合を入れていただきました。「お前たちは腹を引き締めないと乗れないぞ!」と言われた佐々木&坂本事務局長だけは乗りませんでした(^_^;)

田老～学ぶ防災～

浄土ヶ浜で楽しんだ後は今回のメインである「学ぶ防災」について宮古観光文化交流協会の担当者から震災時の状況や復興状況について説明を受けました。この日は私たち以外にも小学生や学生など多数の団体が「見て聞いて」学んでいました。

防潮堤の構造により被害に差があったことや、津波が迫ってきたことが住民には見えなかったことから「津波に関する危機感の違い」という問題など、様々な説明を皆さんは真剣に聞き入っていました。

たろう観光ホテルの5階ではホテルの社長が撮影した映像から始まり、数種類の映像を見せていただきました。7年5ヶ月目となるこの日に学ぶ防災を受け、映像を見た時には改めて津波の恐ろしさと、自分自身が自分の命を守らなければならないことを学びました。また、風化させることなく継承していくべき防災だと考えさせられました。

防潮堤に登るメンバー



防潮堤から見渡し震災の大きさを感ずる



ホテルを見て津波の強さに驚く



津波に呑み込まれる映像に驚き！



壊された鉄製の階段とエレベーター



この日を忘れない為に集合写真



今回の学習会は参加労働組合数が過去最高の9組合でした。三陸鉄道から浄土ヶ浜を楽しみ、学ぶ防災では参加者全員が真剣に聞き、命を守る事の重要性を学びました。

交流会では初対面のメンバーとも楽しく盛り上がり、あっという間の2時間となり、「心のつながり」の一端を担う事が出来ました。今回の学習会では新しいメンバーも加えて再会し、「信頼を深める交流」を続けていきましょう！

参加組合名

《宮古地協》
東北電労宮古支部・ユアテックユニオン・JP労組宮古支部・足立労組
《県北地協》
二戸市職労・高教組久慈支部・岩教組県北支部・東北電労二戸支部・東京銀座ファッションユニオン

